

## 令和2年度 第1回美術館セミナーの報告

1 日時 令和2年8月5日(水)13:30~16:00

2 場所 茨城県近代美術館 地階講堂

3 参加者 合計 23 名

4 活動内容

13:00~13 30 受付

13:40~13:55 諸連絡、美術館と学校との連携事業紹介

14:00~15:30 「子どもの感性を育み豊かにする鑑賞教育—新学習指導要領の視点から」美術教育講演会

講師:小林 恭代 氏(文部科学省初等中等教育局教育教科調査官)

今回のセミナーは、授業の様子や生徒の作品を動画や画像で見せながら学指導要領改訂の内容を分かりやすく説明していただいた。学校の夏季休業日が短縮になり、セミナーの当日が授業日の学校が多かったため、例年より参加者が大幅に少なかった。しかし、受付での検温、県のアマビエ事業の実施、座席の指定などの感染症対策を十分にとった実施により、参加者から「安心して参加をすることができた」との意見があった。

〈アンケートから〉

- ・図工・美術では児童生徒の感性を育てることが大事だと改めて実感できた。また、それには教師の感性が大事であり、教師の働きかけが作品に反映されると感じた。
- ・新学習指導要領の内容のポイントが分かりやすく説明されており、勉強になった。
- ・図画工作における造形活動の児童の評価、見取り方の視点がより鮮明になった。今度の授業に生かしていきたい。
- ・幼児教育から感性を育てていく働きかけを普段から行っていく必要性を感じた。美術館とも連携して様々な体験をさせていきたい。

